

はにい

地域とともに

平成28年7月25日

5月の日曜日。ある神社のお祭りの日。
このお祭りは中学校区にある4つの町内会が参加している。
生徒たちはそれぞれの住む町内会の御神輿を担ぐ。

大人たちが御神輿の周りで見守っている。
何年も地域に大切に保存されている伝統のある御神輿だ。
中学生約20人で持ち上げる。

「そーれ！」

重い。初めて担ぐ1年生はびっくりする。
上級生は、少し誇らしげだ。



「サア！サア！サア！サア！」
3年生のリーダーが、拍子木を持って
威勢のよい声を上げる。
みんなで交代しながら町内を回る。汗が出てきた。
地域の大人たちが声をかけてくる。
「もっと、声出せ！」「がんばれ！」
恥ずかしがっていた生徒も声が出てきた。
「わっしょい！わっしょい！」

はじめはボランティアで野球部だけが参加していた。
町内会の声かけがきっかけで、全校生徒が希望参加するようになって15年がたつ。
雨乞いのお祭りだが、お祭りの日に雨が降らないようにみんなが願う。
地域の人たちが言う。

「これからも、ずっと御神輿を担いでほしい」

「よ～お！」

全員の大きな三本締めで御神輿担ぎが締められた。
笑顔で生徒たちは学校に戻ってくる。
毎年、学校ではPTAのお母さんたちが、
カレーを作って、出迎えてくれる。
次の15年へ、つないでいくのは生徒たちだ。
「いただきます」の声が響いた。



『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp